

1 日出町立日出小学校の校内研究における「事実解釈型」の取組

1月15日（水）校内研究会（実践授業2年生 道徳科）にて

【参考資料1】研究主任が研究授業の参観前に配布した資料

★授業観察の視点

以下の点を留意して「子どもの姿」を見て下さい。

子どもの名前、発言（挙手や指名による発言、つぶやき、おしゃべり）、ノートやプリントへの書き込みはもちろんですが、とっさの表情、身体の向きや姿勢などにも着目し、一人ひとりの学びがどういうプロセスを経て成立したのか、ていねいに見ていきましょう。

①本時の授業で子どもたちは、自他の考えを大切にし、協働して学び合うことができていたか。

（目的を明確にした「聴き合う・伝え合う」交流活動であったといえるか。）

- ・授業者は、本時で2回、グループ交流と全体交流を入れています。その際、交流の様子や子どもの考えの変容のポイント・変容の実感などを観て下さい。
- ・事前研で話題になった「深める問い」はどうだったか、意識して観て下さい。

②目的に沿った交流活動にするためには、どんな土壌作りが有効か。

- ・本時も含め、これまでに、様々な取組の積み重ねの姿があると思います。「めざす子どもの姿」とも照らして、「こんな姿があったよ。」「こんなところができているよ。」など、見つけていきましょう。

★【授業者のめざす具体的な子どもの姿】

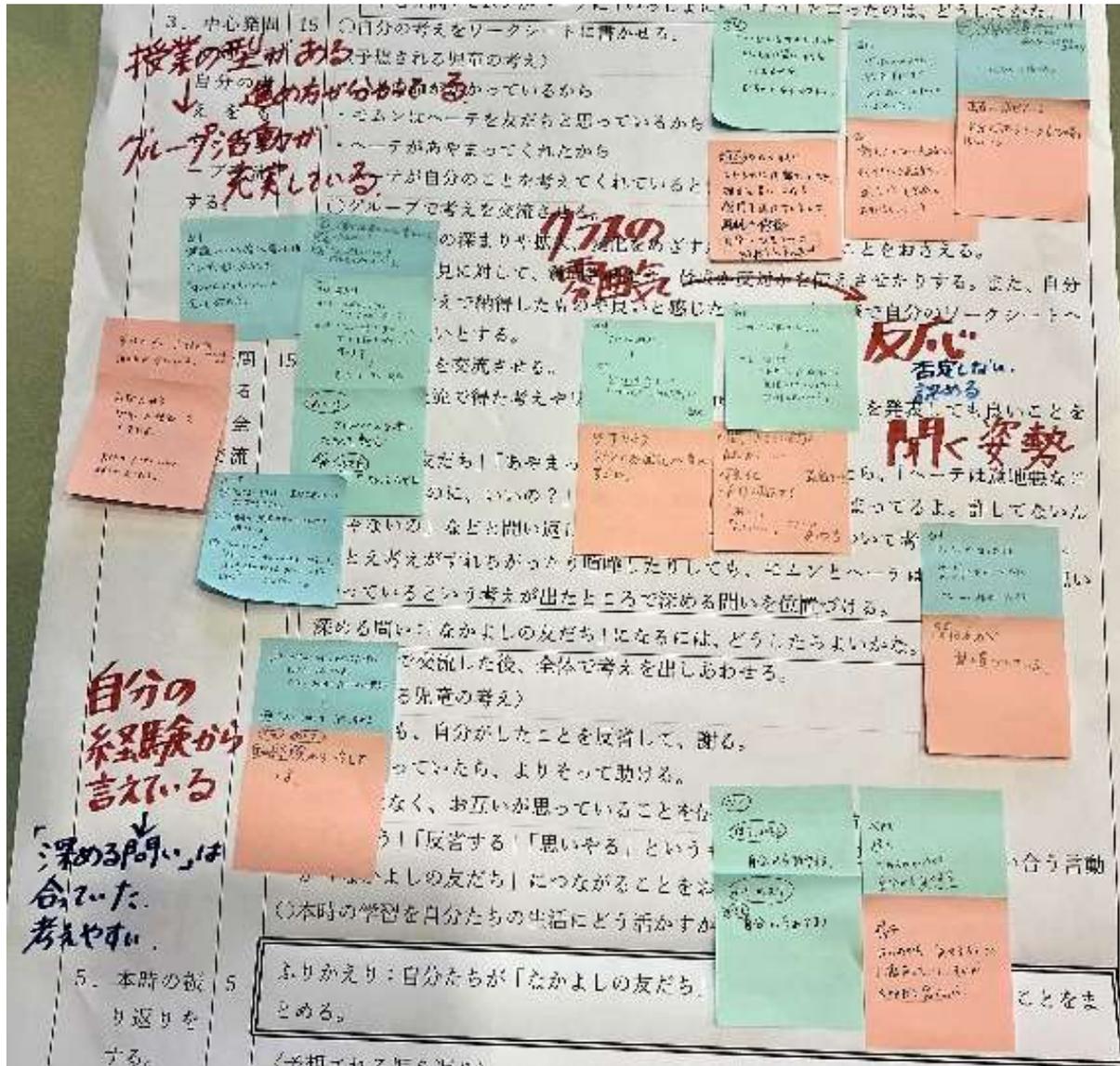
①グループでの考えの交流

- ・一人一人が自分なりの考えを話すことができる。
- ・友だちの考えに対して質問して、どんな考えなのかを理解しようとする姿が見られる。また、出された考えに対して、賛成（「たしかに」「なるほど」など）か反対（「でも・・・」など）かを考えた反応が見られる。納得した意見を、すすんでワークシートへ記入する姿が見られる。

②全体でいろいろな考えを出し合う交流

- ・友だちの発言を聞き、つけ加えたり、似ている考えを発言したりする。また、納得できない時は、「でも…」と反対意見とその理由をきちんと発言することができる。
- ・発言者に身体を向け、頷きや声の反応をして、真剣に聴く姿が見られる。
- ・納得した意見を、すすんでワークシートへ記入する姿が見られる。

【参考資料2】事後研で出された生徒の見取り（事実）と解釈



A 児
「絶対に許さんに手をあげたけど、許したいけどね。」

許したくない気持ちと許そうとする気持ちで迷っている。(自分と置き換えている?)

B 児
「心配だから」
C 児
「あー。たしかにねー。無視したんじゃないかと怒ってたんじゃないん？」

- ・聞いたことに対する反応がいい。
- ・否定していない。
- ・強化
- ・自信を持たせる。

「あー」「たしかに」などの相づち

D 児
課題について考えを書いた後、グループで話し合うとき、「私から言っていい？」と言って始めた。

普段からグループ活動をしている。
自他を大切にしている様子がみられる。

【参考資料3】授業者に渡されるサンキューレター

♡サンキューレター♡ (いつでも使いましょ！互見授業等観察シート)

【 _____ 】先生へ ← 【 _____ 】より



月 _____ 日 教科等(_____)

よかったこと・参考にしたいこと こうしたらよいと思うこと(改善点) 感想 感謝…など

Blank area for writing the thank-you letter.

互見授業などで授業参観した際、良かったこと、参考にしたいと思ったこと、児童の様子、アドバイス、慰労の言葉などを書いて、このシートを授業者に渡すそうです。



事例のポイント (大分大学 大島先生より)

「一人ひとりの学びがどういうプロセスを経て成立したのか」という参観の視点がとてもよいです。そうした視点があることで、具体的な子どもの姿の見取りが可能となりますし、事後研(参考資料2)では、子どもの事実(水色の付箋)をもとに解釈(ピンクの付箋)を生み出している様子が見て取れます。